

■民主と共和■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 370 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

370 目次

- 1. トピックス：映画【杜人（もりびと）】必見です
- 2. ブログより：民主と共和
- 3. 今週のお誘い+今後の予定
- 4. 地主の学校・販売中
- 5. アクセスポイント：問い合わせ先
- 6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：映画【杜人（もりびと）】必見です

先日、【杜人（もりびと）～環境再生医 矢野智徳の挑戦】という映画を見ました。

すべての生き物が、すでに何億年もの間地球の自然環境で生きているということは、全ての生き物が地球の自然環境を守るため何らかの役割を持っているとしか考えられません。

そんな視点で自然を観察し続けてきた矢野さんは、人間だけがその役割を忘れていていると言います。

それは、資金や機械の力でなく、動物としての人間にできること。

子供のころから「なぜ木は枯れるのか」という疑問を持ち続けた矢野さんは、勤め先の造園屋で「木が枯れなければ造園業は潰れる」と聞き、日本各地の土壌改良に取り組む決意をしたそうです。

.

僕が説明するより、まずは予告編 (vimeo) を見てください。

https://vimeo.com/674638814?embedded=true&source=video_title&owner=157061909

近くの上映館を探して、是非とも見てください。

<https://movie.jorudan.co.jp/cinema/43247/schedule/>

そして、映画を観た感想を聞かせていただければ幸いです。

.....

2. ブログより：民主と共和

5月13日友人のS君がFBにシェアした記事が、あまりにも衝撃だったので、ここに引用したい。

記事は「民主主義は生き残れるか」の前編

<https://www.toibito.com/interview/social-science/politics/3374>

1. 参加と責任のシステム
2. 君主制、貴族制、民主制
3. 共和制という発想
4. 議会とは何か

この「東京大学社会科学研究所 宇野重規教授へのインタビュー」には後半も有るので、興味のある方はまずご一読を。

そして是非、僕の意見も聞いて欲しい。

・

この記事を読んで僕が驚いたのは次の2点だ。

第1点は、世界の歴史は君主制⇒貴族制⇒民主制へと変化してきたかのように思っていたが、古代ギリシャで成立した1500以上のポリス（都市国家）において様々試行され、アリストテレスが著作「政治学」の中で、これら3つを比較検討していたこと。

そして第2点は、古代ローマにおいて上記3つを組み合わせ、君主役の「コンスル」という執政官を、貴族役の「元老院」を、そして民主制の意図を汲んだ「民会」を置いた共和制が生まれたこと。

アメリカにおける「大統領－上院－下院」の仕組みは、まさにその流れを汲んでいるということだ。

・

共和制が、君主制の独裁と、貴族制の腐敗、そして民主制の衆愚政治を防ぐための仕組みなら、恐らくこれに異を唱える人は少ないだろう。

現に、世界の国々はごく一部を除き、様々にアレンジしながら共和制を取り入れている。

中国が「中華人民共和国」、北朝鮮が「朝鮮民主主義人民共和国」であることを考えれば、すでに共和制こそが世界をつなぐ仕組みになっていると言っても過言ではないと思う。

先ほど述べた2点の驚きは、ずっと以前から慣れ親しんできた「共和制」の意味を、実は何も分かっていなかったという衝撃だ。

もしもこの記事にあるように、共和制が「君主制、貴族制、民主制のいいとこどり」だとするならば、日本も本当は共和国なんだろうか。

・

もしも共和制が民主制を内包する概念なら、「民主制と共和制の違い」という議論には意味が無い。

だが、両者の違いをググると、「共和制は国家元首（大統領）を国民が選ぶ制度」という記事があり、そこには「したがって日本は民主制」と書いてある。

これは、「天皇制だから民主制」というめっちゃくちゃの上に、すでに天皇は国家元首でなく象徴なのだから話にならない。

一方、共和制だとすれば君主に相当するのは誰なのか。

議院内閣制における総理大臣が君主ではないとするなら、天皇を君主とみなすのが順当であり、現に国賓を迎える役割を公費で担っている。

むしろ、君主役の天皇から選挙権などの人権をはく奪することで無力化したことが、日本独自の共和制と考えると合点がいく。

・

それでは、貴族制にあたる参議院と、民主制にあたる衆議院はどうだろう。

イギリスの貴族院・庶民院に倣って作られたこの仕組みは、戦後「民主化」の名のもとに形骸化し、参議院の存在意味はほとんど感じられない。

インタビュー記事の「4. 議会とは何か」に述べられている通り、議員はみんなの代表ではなく、選挙は政党から送り込まれた「候補者」の人気投票にすぎない。

「民主制のいいとこどり」という共和制のごく一部を「民主制」と思い込ませ、民主制自体の欠点を解消したり利点を伸ばす努力は見当たらない。

そして今、「民主」という言葉が形骸化するだけでなく、中国やロシアなどを孤立化するためにまで悪用されている気がする。

君主も貴族も生まれる前、そもそも人類は「民主」から始まったはず。

民主から派生した君主や貴族を志向した末に、「共和」という「君主・貴族・民主のいいとこどり」が生まれた。その後現代に至るまで、「共和」の枠組みで更なる新たな仕組みが試行されてきたのは、原点である民主への回帰を目指しているからではないだろうか。

(このあたり、インタビュー記事の後半に書いてある。)

インタビュー記事の「1. 参加と責任」にもある通り、「古代ギリシアのデモクラティアという言葉は、デーモスとクラトスに分解でき、直訳すると「民衆の力」「民衆の支配」といった意味になります」とか、「くじ引きで選ぶ官僚」や、「みんなで裁く裁判」など、デモクラシー（民主主義）が「参加者が責任を持つ仕組み」であることを述べている。

以上、僕の「国づくり活動」が目指す「みんなで地主=民主」について、大きな気づきと学びを得た、感謝。

<https://nanoni.co.jp/20220523/>

3. 今週のお誘い+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：一般参加不可、下記以外の時間はすべて応相談

■今週の予定

- (火) 05/24 なのに (自宅) 作業日
会議○：20-21時 LR 定例営会議 (zoom)
- (水) 05/25 なのに (自宅) 作業日
- (木) 05/26 なのに (各所) 作業日
会議◎：17-19時 笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- (金) 05/27 なのに (自宅) 作業日
作業○：09-12時 名栗の森関係・挨拶回り (飯能)
会議×：18-19時 全てに開かれた会 (zoom)
- (土) 05/28 笑恵館 (世田谷) 作業日
交流◎：09-15時 よろず相談会 (笑恵館)
- (日) 05/29 いづみ (横浜) 作業日
交流◎：09-12時 PJT 説明会 (いづみ)
交流◎：12-18時 いづみ tea&bar (いづみ)
- (月) 05/30 なのに (自宅) 休業日
会議○：22-23時 八島花文化財団準備室 MTG (zoom)

■定例の予定

月曜・毎週 22-23時 ○八島花文化財団準備室 MTG (zoom)

- 火曜・第2,4 20-21時 ○LR 定例営会議 (zoom)
- 水曜・第1 10-12時 ○OforW 経営運営会議 (zoom)
- 第2 08-10時 ×AR チーム MTG (zoom)
- 木曜・第2 15-16時 ×かなこ PJT (zoom)
- 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 第3 13-18時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
- 18-20時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
- 20-21時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)
- 第4 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 金曜・第2 19-20時 ◎カプラー起業交流会 (zoom)
- 土曜・毎週 09-17時 ◎よろず相談会 (笑恵館)
- 第1 21-22時 ×喜多見共和国 MTG (zoom)
- 第2 12-14時 ×RYUSEN PJT (zoom)
- 日曜・毎週 09-17時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)
- 第1 10-11時 ×100smile 会議 (zoom)
- 第4 10-14時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

- 05/31 会議× : 13-16時 理知の杜評議員会 (zoom)
- 06/03 会議○ : 08-09時 地主の学校ゼミ (zoom)
- 06/04 会議× : 17-18時 えん千歳台年次総会 (笑恵館)
- 06/09 会議× : 15-16時 三宿 R420 商店会年次総会 (zoom)
- 06/19 会議× : 13-16時 チャレンジアシスト P1 次審査会 (zoom)
- 07/10 交流○ : 13-16時 チャレンジアシスト P 公開審査会 (zoom?)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：株式会社なのに（取締役・平社員）
〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1
<http://nanoni.co.jp/>

職場：一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）
<http://land-resource.org/>
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館
<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：
特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）
<http://www.home-for-all.org/>
一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）
<https://localrepublic.jp/>
ユナイテッドスクールオブ東京（顧問）
<https://www.united-school.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>